

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
太田 誠			
月3、4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>(Hクラス用) 本講義では、コミュニケーションを人と人との情報のやり取りと捉えて解説する。まず、コミュニケーションのチャネルの多様性について概観し、コミュニケーションの基礎となる人間の情報処理についての基礎事項を解説する。そのうえで、言語の役割、非言語コミュニケーション、説得的コミュニケーション、情緒の表出などのコミュニケーションの諸側面について解説する。加えて、近年大きく変貌を遂げているメディアとコミュニケーションとの関わりについて考察する。</p> <p>コミュニケーションの多様性およびコミュニケーションに関わる要因についての理解をめざし、情報の送り手・受け手としてのあり方を考察する。その中で、栄養指導のあり方、食生活に関する情報の影響についても検討する。</p>
授業の内容	<p>第1回 ガイダンス 授業についての事前アンケートを実施した上で、授業の概要、授業計画、授業の方法、学習到達目標、成績評価の方法などについて説明する。</p> <p>第2回 事前準備：事前にシラバスを読んでおくこと。印刷したシラバスを持参すること。 コミュニケーションのチャネル コミュニケーションのチャネルの種類と多様性について解説する。</p> <p>第3回 授業後： ・復習課題を使って、コミュニケーションのチャネルについてまとめておくこと。レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 情報処理システムとしての人間（1）－認知の基礎を中心に－ 人間は、外界からの情報を捉える（認知する）とき、情報をそのまま取り込み保存するのではない。情報を選択したり、情報のまとめりづけをしたりといった様々な処理を行っており、そうした処理が、コミュニケーションの基礎となっている。ここでは、「認知の基礎過程」の中から知覚と記憶について、簡単な実験・実習を交えながら解説する。</p> <p>第4回 授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 授業中に行った実験・実習について、方法と結果をまとめておくこと。 情報処理システムとしての人間（2）－対人認知を中心に－ 人についての情報をどう捉えているか（対人認知）について、印象形成、性格認知のバイアス、認知の均衡化などの観点から解説する。実験実習や発表を交える。</p> <p>第5回 授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 授業中に行った実験について、方法と結果をまとめておくこと。 言語コミュニケーション。 言語の役割と獲得過程について解説する。</p> <p>第6回 授業後：復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 非言語コミュニケーション（1）近言語、身体言語、対人距離 コミュニケーションのチャネルとして、非言語コミュニケーションも非常に重要であり、言語と補い合う働きもしている。ここでは、非言語コミュニケーションの中から、近言語、身体言語、対人距離について、実験・実習も交えながら解説する。</p> <p>第7回 授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 授業中に行った実験について、方法と結果をまとめておくこと。 非言語コミュニケーション（2）被服が伝達するメッセージ、化粧の効果 非言語コミュニケーションのなかから、被服が伝達するメッセージ、化粧の効果について解説する。</p> <p>第8回 授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 前回・今回の授業を踏まえて、自分の非言語コミュニケーションの特徴について検討し、まとめておくこと。 説得的コミュニケーション（1）説得的コミュニケーションに関わる要因 説得的コミュニケーションには様々な要因が関わることが知られている。そうした要因の中から、情報源の信憑性、情報の提示方法、情緒的説得などのついて検討する。その上で、生活の中</p>

	<p>で、説得した体験、説得された体験について振り返る。</p> <p>授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) グループごとに次回授業での発表準備を進めておく。</p> <p>第9回 説得的コミュニケーション（2）詐欺 グループごとに詐欺の事例について、事例の概要、影響していると考えられる要因などを発表（プレゼンテーション）し、詐欺被害の防止等について、コミュニケーションの観点から話し合う（ディスカッション）。</p> <p>事前準備：グループワークで準備する。グループごとに、詐欺事例の資料を調べ、事例の概要、影響していると考えられる要因などをディスカッションし、発表の準備を行っておくこと。詳しくは第8回授業時に指示する。 授業後：復習課題を使って、発表とディスカッションから考えたことをまとめておくこと。</p> <p>第10回 情緒の表出 情緒の表出様式（表情）の普遍性と文化差等について解説する。</p> <p>授業後 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 資料を読んで、資料中の実験や調査について方法と結果をまとめておく。</p> <p>第11回 コミュニケーションとメディア（1）現代メディアの状況 現在のメディア状況とコミュニケーションについて解説する。</p> <p>授業後 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 資料を読んで、現在のメディア状況についてまとめておく。 3) 現在のメディア状況と関わる自分の体験についてまとめておく。</p> <p>第12回 コミュニケーションとメディア（2）「うわさ」「ブログ」を考える 「うわさ」「ブログ」「SNS」などのコミュニケーションについて、資料を手がかりに検討する。</p> <p>1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 資料を読んで、関連する自分の体験についてもまとめておく。</p> <p>第13回 コミュニケーションとメディア（3）メディアリテラシー メディアからの情報を主体的批判的に受け取る能力「メディアリテラシー」について解説する。</p> <p>1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 自分が体験した関連する事例についてもまとめておく。</p> <p>第14回 コミュニケーションとメディア（4）フードファディズム 「食情報」の影響について、資料を手がかりに解説する。</p> <p>1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 自分が体験した関連する事例についてもまとめておく。</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>【知識】 コミュニケーションのチャンネルの種類を列挙できる。 人間の情報処理の基本的事項が説明できる。 言語の役割について記述できる。 非言語コミュニケーションの種類を記述できる。 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションとの関係について説明できる。 説得的コミュニケーションに関わる要因について記述できる。 情緒表出の普遍性と文化差について例を挙げて説明できる。 現代のメディアの状況について記述できる。 メディアリテラシーについて説明できる。 フードファディズムについて説明できる。</p> <p>【態度・技能】 情報の送り手・受け手としての自分のコミュニケーションの特徴を指摘できる。 情報の送り手・受け手としての自分のコミュニケーションのあり方に配慮できる。 メディアからの情報を主体的批判的に受け取ることができる。 栄養指導場面や日常生活で、目的に応じて、コミュニケーションのチャンネルの種類やコミュニケーションに影響する要因に配慮して、行動することができる。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】 1. 講義に加えて、実習、実験、体験学習、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション（発表）、復習課題による演習などを交えて授業を進めます。 2. 授業時に「カード」を配布します。その回の授業内容について、わかったこと、質問や感想などを自由に記入して提出してください。提出されたカードは、授業の参考にすると同時に、みなさんからの質問で重要なものに対しては後の授業でコメントします。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 ・実習、実験、体験学習：コミュニケーション行動に関わる実習、実験、体験学習を行います。 ・グループワーク、プレゼンテーション（発表）：第9回では、グループワークにより詐欺の事例についてデ</p>

	<p>スカッションしまとめ、発表（プレゼンテーション）します。</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <p>【その他特記事項】</p> <p>3. 授業時に「復習課題プリント」を配布します。 提出用：授業時に指示に従って記入し、提出してください。 保存用：「提出用と同じ内容」と「自主的に理解を深めるための課題」から成る自習用課題です。持ち帰り、レジュメや資料、参考書等の内容を確認しながら記入してください。</p> <p>4. 授業への理解を深める目的で、授業内容を自分の経験等と結びつけて考察するレポートをまとめます。詳しくは授業中に指示します。レポートの書き方について特別時間で説明・演習を行うので、必ず出席してください。</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】</p> <p>1. 課題（各回提出：20%）、定期試験（筆記試験：80%）により評価します。 2. 各回授業で提出の課題は授業内容の理解を助けることを主眼とし、評価の割合としては定期試験を重視します。 3. 授業出席が授業回数の2/3未満の者および受講に著しく問題のある者については単位を認定しません。 4. 詳細は初回の授業時に説明します。</p> <p>【割合】</p> <p>1. 課題（各回提出：20%）、定期試験（筆記試験：80%）により評価します。</p>
教科書・テキスト	<p>1. 配布資料プリント：レジュメ（授業の要旨をまとめたもの）と資料から構成されています。 2. 課題プリント（各回提出用、自習用） 3. 視聴覚教材 など</p>
参考書	<p>【コミュニケーションにかかわるもの】</p> <p>1. ロバート・B・チャルディーニ 社会行動研究会 訳 2007 影響力の武器 第二版 誠信書房 2. 大坊郁夫 1998 しぐさのコミュニケーション 人は親しみをどう伝えあうか セレクション社会心理学－14 サイエンス社 3. 橋元良明 2011 メディアと日本人－変わりゆく日常 岩波新書 4. 川上善郎 1997 セレクション社会心理学-16 うわさが走る ー情報伝播の社会心理ー サイエンス社 5. 河合優年 松井惟子 1996 看護実践のための心理学 メディカ 6. 草野厚 2000 テレビ報道の正しい見方 PHP新書131 PHP研究所 7. 中島義明 神山進 1996 人間行動学講座1 まとうー被服行動の心理学ー 朝倉書店 8. 小川捷之 椎名健 編著 心理学パッケージー心の世界を解き明かすーpart 4 ーpart 5 9. 斉藤勇 編 2005 対人心理学トピックス100 新装版 10. 高木修 監修 大坊郁夫 神山進 1996 被服と化粧の社会心理学 北大路書房 11. 高橋久仁子 2007 フードファディズム メディアに惑わされない食生活 中央法規 12. 取違孝昭 1996 ブルーボックスB-1116 詐欺の心理学 どうだます？ なぜだまされる？ 講談社 13. 東京大学情報学環メルプロジェクト 日本民間放送連盟 編 2005メディアリテラシーの 道工具箱 テレビを見る・つくる・読む 東京大学出版会総務省編 2017 平成29年度情報通信白書 特集 データ主導経済と社会変革 14. 総務省編 情報通信白書</p> <p>【コミュニケーションと関連する心理学全般に関わるもの】</p> <p>1. 鹿取廣人 杉本敏夫 鳥居修晃 編 2015 心理学 第5版 東京大学出版会 2. 飯長喜一郎 岩立志津夫 2008 精神保健福祉士・社会福祉士 養成基礎セミナー第2巻 心理学 心理学理論と心理的支援 へるす出版 3. 桜井茂男 岩立京子編著 2010たのしく学べる乳幼児の心理改訂版 福村出版</p>
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>1. 復習課題プリントを使って復習しましょう。授業時に「復習課題プリント」を配布します。 提出用：授業時に指示に従って記入し、提出してください。保存用：「提出用と同じ内容」と「自主的に理解を深めるための課題」から成る自習用課題です。持ち帰り、レジュメや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入してください。疑問点はメモし、質問しましょう。</p> <p>2. 配布資料プリントの資料や参考書を読んで理解を深めましょう。詳細は授業時に指示します。</p> <p>3. 授業への理解を深める目的で、授業内容を自分の経験等と結びつけて考察するレポートをまとめます。詳しくは授業中に指示します。レポートの書き方について特別時間で説明・演習を行うので、必ず出席してください。</p>
履修上の留意事項	<p>1. 用語を憶えると同時にストーリーの理解に努めてください。 2. 他の授業での学修内容や、生活の中での経験、自分の興味関心と関連づけて考えるように努めてください。 3. 配布物をファイル等に整理しておきましょう。</p>
オフィスアワー	<p>月曜日5限（事前に連絡してから訪問してください。） その他の時間も可能な限り対応します。事前に連絡してから訪問してください。 授業内容についての質問をする際には、質問内容に関わるレジュメ、資料、筆記用具などを持参してください。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>1. 授業時に提出されたカード：授業の参考にすると同時に、みなさんからの質問等で重要なものに対しては後の授業でコメントします。 2. 復習課題等：授業中に学生の質問を受けつけたり、答え合わせをしたり、学生の記入内容へのコメントなどをします。 3. 筆記試験：a-portalおよび後期授業等でコメントします。</p>
実務経験	
その他	<p>授業開始時刻までに着席しましょう。 授業開始前に必要物（テキスト、ノート、筆記用具など）を準備し、配布物に目を通しましょう。 配布物をファイル等に整理しておきましょう。 授業中私語厳禁とします。授業中、携帯電話は電源を切り鞆の中にしめてください。 積極的に質問をしましょう。</p>